

Ryunan Spirit

校長通信

R7.11.04

Vol.135

『まほろば祭合唱コンクール』を終えて……

クラスの願いは一つになりましたか?!

体育祭を終えてから急ピッチで準備を進めてきた『合唱コンクール』が終わりました。各クラスの思いは今、どうでしょうか。最後にもお話ししましたが、どの学年も本当によく頑張りました。コンクールですから賞はつけなければなりません。それでも講師の先生は、最後の最後まで迷われていました。それほど、どのクラスも頑張り抜いた結果なのだと思います。

一年生は、まずこの時期の合唱としては、かなりレベルが高かったと思いました。いつも元氣いっぱいの一学年のみなさんが、文化会館の上で堂々と歌う姿に感心させられたと共に、この数ヶ月での成長を感じました。変声期に入り声が出しづらい人もいたかもしれませんが、これからきつと、どんどん上手になると確信できたそんな合唱でした。二年生、昨年と比べて

本当に上手になりました。男声も女声も段々と大人の声に近付きつつある中で、それぞれのクラスが難しい曲にも挑戦しました。これからさらに心身の成長と共に、きつと合唱の声もさらに素敵に変わるのでしようね。大地讃頌を全校で歌いました。混声四部合唱で難しいのですが、二年生からもバンバン声が聞こえました。いよいよ全校の中心となりますが、合唱の部分でも南部中の三本柱としての更なる進化を、みんなの手で成し遂げてくれると確信できる、そんな素敵な演奏でした。そして三年生。やっぱり素晴らしかった。すごかった。どのクラスを聴いていても、一緒に口ずさみたくなるような、そんな素晴らしい合唱でした。何よりどのクラスも、自分たちの歌声に誇りを持っている。それ

がよく伝わってきました。講師の先生もおっしゃっていました。決して無理をするのではなく、自然に足が開き、身体が指揮者の方を向いて引きつけられていく。全身でリズムをとっている。そんな姿が随所に見られました。今までの先輩たちから受け継いでくれた伝統を、見事に自分たちのものとして、新たな一ページを加えてくれました。何よりそれが嬉しく、また誇らしく思います。いろいろなところで活躍してきた三年生。まさにそのことを証明するような素晴らしい合唱の数々でした。これから三年生



は進路開拓に向かいます。一人きりで戦うのはとても苦しいこと。それでも、仲間がいれば、共に励まし合い、支え合って乗り越えていくことができる。どうか今日まで築き上げたものを大切にしてください。何物にも代えがたいもの、

『心奏でるように』みんなで記した伝統となつた一ページ、これからもみなさん自身の手で、さらに発展させていくことを期待しています。本当に素晴らしい一日を、ありがとうございました。

